

## 小中学生と地域による 海拔高度シール・津波到達時間表示板

| 取組分類 | 参加体験    | 行動特性   | デジタル |
|------|---------|--------|------|
|      |         | ☑災害の切迫 |      |
| 自治体  | 高知県四万十町 |        |      |

問合せ先：高知県四万十町 危機管理課

### 取組概要

- 津波被害が想定される興津地区では、**小中学校の生徒が地域の住民と協力して、「海拔高度シール」や「津波到達時間表示板」を作成し、地域に貼り出す取り組みを実施している。**

### 取組のきっかけ

- 興津地域は、地震発生後10～20分以内に津波が到達する想定がされており、地域の中には、特に高齢者を中心とした世代で避難が間に合わないという方が多く存在していた。
- 地域では、**学校と地域住民、また大学等の関係機関が一体となった防災活動の取組が必要**と考えられており、これまでも継続的に取り組みを実施してきた。

### 取組のポイント

- 興津小学校の生徒は、地域の方たちと相談しながら、特に危険な地域を住民に知らせる取組として、「海拔高度シール」を掲示している。
- あわせて、興津中学校の生徒は、「津波到達時間表示板」を掲示。これらの取組により、地域住民は、「津波の到達までに〇〇分あるから諦めずに逃げよう」といった前向きな姿勢につながっている。
- また、小学校5～6年生が年2回避難場所を巡り、危険箇所を発見したり、避難時のアイデア等を拾い出して、行政に手紙で提案。
- さらに、子ども達で作成した防災マップにより、津波浸水地域に立地する保育所やデイサービスセンターの高台移転の実現につながるなど、町の防災対策にも寄与している。

▼海拔高度シール



▼津波到達時間表示板を掲示する様子



### 取組の効果

- 海拔シールを約100枚、津波到達時間表示板を約50枚掲示。掲示物の効果もあり、住民には「避難する時間が10～20分もあるので、諦めずに逃げよう」という意識が生まれている。
- 子供たちが参加することに影響され、毎年の避難訓練も高い参加率をキープすることができている。